

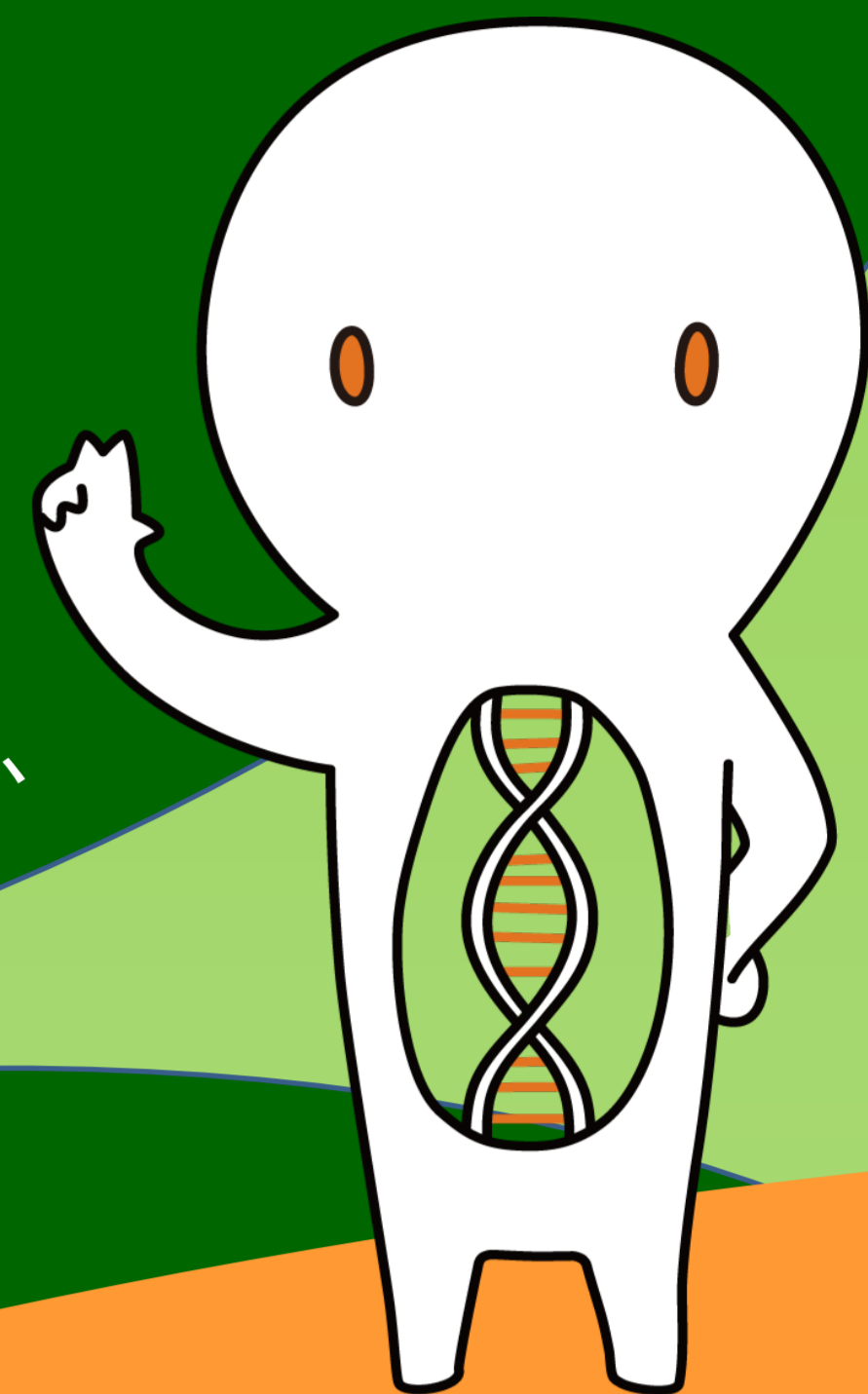
女子中高生夏の学校 2017 ～科学・技術・人との出会い～ 参加報告

日本分子生物学会は、中高生への教育活動の取り組みとして、『夏学（なつがく）』こと「女子中高生夏の学校」（主催：国立女性教育会館／科学技術振興機構「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」採択）に、2005年のプログラム開始当初から参加しています。

『夏学』は、合宿研修を通じて、女子中高生と研究者・技術者、大学生・大学院生等が少人数単位で親密に交流し、理系進路選択の魅力を伝えるものです。文系・理系を問わず、科学・技術の分野に興味・関心のある女子を対象としています。

また、女子中高生の進路選択について、身近な支援者である保護者や教員向けのプログラムも設定されています。

2017年の夏学は8月5日（土）～7日（月）の2泊3日で開催され、103名の女子中高生、19名の保護者・教員が参加しました。



- 実験・実習
- 植松 崇之 会員（北里大学）
「最初の一人は誰？」
感染症の集団発生を
科学しよう！」

- ポスター
- 稲城 玲子 会員（東京大学）
「腎臓の仕組みや腎臓病を知る」



一度参加された会員が、その後も有志のリピーターとして熱心に活動を続けてくださるのもこのイベントの特徴です。

理系進路に進んだ先輩と交流する様々な切り口のキャリア相談プログラムが会期を通じて行われる中、多様性に富んだキャリアの研究者が集う分子生物学会は、多彩なロールモデル情報の提供にも一役買っています。



- ポスター
- 田代 有美子 会員（日本歯科大学）
「口腔細菌の全身の病気への関わり」

夏学の企画・運営・サイエンスプログラム講師役としてご協力くださった会員の皆様、ありがとうございました。
また、今年も夏学を盛り上げるサポート物資を会員・企業の皆様より多数ご提供いただきました。御礼申し上げます。